

第26回
横浜環境活動賞
事例集



横浜市環境創造局

横浜環境活動賞について

1 概要

横浜環境活動賞は、地域で様々な環境活動を積極的に行っている市民(個人・団体)、企業、児童・生徒・学生の皆様を表彰する制度です。環境の保全・再生・創造に対する関心をより一層高めていただくとともに、地域の環境活動を推進し、環境にやさしいまちづくりを進めることを目的に平成5年度に創設されました。

2 表彰内容

(1) 部門

「市民の部」「企業の部」「児童・生徒・学生の部」

(2) 表彰の種類

大賞 (各部門からそれぞれ1者を表彰)

実践賞 (大賞以外の受賞者)

特別賞 第26回のテーマは「生物多様性」(全応募者から生物多様性の保全・再生・創造に特に貢献している1者を選考)

3 対象となる活動(原則おおむね3年以上の実績があるもの)

(1) 市民の部

市民の皆様が自主的に行う環境活動で、将来にわたり継続する見込みがあり、身近な環境の保全・再生・創造、環境に配慮した実践活動、普及啓発等の分野で地域社会への貢献度が高いもの。

(2) 企業の部

企業経営そのものの取組姿勢から社会貢献活動まで広く評価の対象とします。

(3) 児童・生徒・学生の部

授業として取り組む活動を除き、児童・生徒・学生の皆様が自主的に行う環境活動で、将来にわたり継続する見込みがあり、身近な環境の保全・再生・創造や環境学習の実践等の分野で学内や学外の地域社会への貢献度が高いもの。

4 受賞者の決定

学識経験者等で構成する「横浜環境活動賞審査委員会」の審査に基づき、受賞者を決定します。

横浜環境活動賞審査委員会 委員名簿 (敬称略)

委員長	戸川 孝則	横浜市資源リサイクル事業協同組合 企画室 室長
委員長職務代理者	北村 亘	東京都市大学 環境学部 准教授
委員	石原 信也	横浜商工会議所 産業振興部長
委員	磯崎 保和	横浜市町内会連合会 副会長
委員	川崎 あや	一般社団法人インクルージョンネットかながわ 理事 特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ 理事 特定非営利活動法人アクションポート横浜
委員	川村 久美子	東京都市大学 メディア情報学部 教授
委員	為崎 緑	中小企業診断士

※第26回横浜環境活動賞審査(平成31年2月22日審査委員会開催)時点

第26回横浜環境活動賞受賞者一覧（目次）

部 門	賞	受 賞 者 名	掲載 ページ
市 民 の 部	大 賞	特定非営利活動法人 森ノオト	P.2
	実践賞	ハマの海を想う会	P.3
		保土ヶ谷区民会議(環境分科会)	P.4
		横浜自然観察の森 友の会 * 生物多様性特別賞 同時受賞	P.5
		リバーサイドガーデン・フラワーズ	P.6
企 業 の 部	大 賞	株式会社太陽住建	P.7
	実践賞	アマンダリーナ合同会社	P.8
	実践賞	東芝環境ソリューション株式会社	P.9
	実践賞	横浜緑地株式会社	P. 10
児 童 ・ 生 徒 ・ 学 生 の 部	大 賞	横浜市立幸ヶ谷小学校	P.11
	実践賞	横浜市立本郷小学校	P.12
	実践賞	横浜市立南本宿小学校	P.13

これまでの受賞者一覧・・・P.14～17

特定非営利活動法人 森ノオト

【団体概要】

- ◇ 活動の目的
この法人は広く一般市民を対象として、環境に配慮し持続可能な地域社会をつくるため、環境保全活動や環境啓発活動を通じて地域交流事業を行い、自然共生・地域循環型のライフスタイルを提案していくことで、人と自然、農が調和できるようなまちづくりの推進に寄与することを目的としています。
- ◇ 活動地域 …… 横浜市青葉区を中心に市内全域
- ◇ 会員数 …… 127名(平成30年11月現在)
- ◇ 活動開始年…… 平成21年

【主な活動内容】

- 情報発信事業……
ローカルウェブメディア「森ノオト」の運営、ライター育成のほか、外部市民団体の情報発信支援も行っています。SDGsの観点を持ち情報発信をすることで、持続可能な地域社会の創出につなげています。
- 地域交流事業……
青葉区役所との協働による「3R夢なクッキング講座」や、地産地消・リユースを徹底したマルシェイベントの「あおばを食べる収穫祭」など、年間100を超える講座やイベントを実施しています。老若男女、多世代が交流できる場を創出しています。
- ものづくり事業……
アップサイクルブランド「AppliQué」を運営しています。ファストファッションへのアンチテーゼとして、処分される運命だった寄付布を活用したものづくりをしています。

【横浜環境活動賞を受賞して】

NPO法人設立以来、すべての事業に「エコロジー」を通底させてきました。このたび、このコツコツと続けてきた衣食住にまつわる様々な取組をこのような荣誉ある賞として評価していただけたことをたいへん嬉しく思います。自団体の活動のみにとどまらず、発信を通してエコや資源循環の理念を広げることにより、そのエッセンスを受け取った市民が「楽しそう」「やってみよう」と我が事として興味を持ってもらえるようお願いしつつ、事業の企画運営を行っています。この受賞を励みに今後も活動を広げていきたいと考えます。



ローカルウェブメディア「森ノオト」を通じて情報発信
年間250本の記事をアップ



地産地消マルシェ「あおばを食べる収穫祭」



青葉区委託事業「3R夢(スリム)なクッキング講座」



布小物ブランド「AppliQué」は魅力的なセンスで展開

◆ ホームページアドレス <http://morinoto.jp>

◆ 問合せ先 TEL:045-532-6941 FAX:045-985-9945

Email: info@morinoto.jp



ハマの海を想う会

【団体概要】

◇ 活動の目的

「もっと遊ぼうハマの海！」をスローガンに水辺での市民活動の機会提供と人材育成、環境美化に資する活動を展開しています。これらの活動を通じ、水域や水辺空間の活用および海遊びへの興味・関心の促進を図っています。

◇ 活動地域 …… 主に横浜のインナーハーバー地区
(中区、西区、神奈川区)

◇ 会員数 …… 101名(平成30年12月現在)

◇ 活動開始年 …… 平成22年

【主な活動内容】

横浜のインナーハーバー地区を主な拠点とし、「偶数月第一土曜日」は横浜市港湾局みなとみどりサポーターとして象の鼻パークの清掃活動を実施しています。

「奇数月第一日曜日」は高島水際線公園での愛護会活動、生き物調査、観察会などを実施しています。

また、市立小学校の総合学習における環境学習(生物調査や水質調査)や外遊びを実施しています。

【横浜環境活動賞を受賞して】

ハマの海を想う会は「もっと遊ぼうハマの海！」のスローガンのもと、ハマの海が大好きな様々な人が集い活動しています。今年で10年目を迎えますが、はじめは釣りとボートで遊ぶことが大好きな数人の仲間が集まり、日ごろお世話になっている海への恩返しとして「海ゴミ拾い」を始めたのがハマ海会の始まりです。象の鼻パークお掃除隊に始まり、それだけでは飽き足らなくなり、活動後に船でのお花見や釣り教室、船上撮影会など様々な企画を展開していきました。活動の幅が広がると共に、参加してくれる方々もどんどん増え、今では幸ヶ谷小学校やみなとみらい本町小学校などの総合学習との連携もあり、子供から大人まであらゆる年代層の方々が活動に参加してくれています。このたび栄えある賞をいただきましたので、2030年のSDGsのゴールに向け、「もっともっと遊べるハマの海！」を目指し、より一層おもしろ楽しく活動を行っていこうと思います。

ありがとうございました。



高島水際線公園での愛護会活動



ボートによる海ゴミ拾い



象の鼻パークでのみなとみどりサポーター



手長エビ釣り大会

◆ホームページアドレス <https://sites.google.com/site/hamaumi/>

公式facebook「ハマの海を想う会」

◆問合せ先 Email: hamaumikai@yahoo.co.jp

保土ヶ谷区民会議(環境分科会)

【団体概要】

◇ 活動の目的

保土ヶ谷区民会議は、行政と区民とのパイプ役として、連合町内会や各種団体との連携を密にし、区民会議・地域・行政のトライアングルで、住みよい保土ヶ谷区のみちづくりを目指して「環境」「教育」「交通」「災害」「福祉」の5分科会で活動しています。

◇ 活動地域 … 保土ヶ谷区全域

◇ 会員数 … 111名(令和元年5月現在)
(うち環境分科会24名)

◇ 活動開始年… 昭和49年

【主な活動内容】

(環境分科会)

- ・環境家計簿への取組
- ・自然環境勉強会とホテル観察会の主催
- ・ヨコハマ3R夢プラン・食品ロス低減等の勉強会主催
- ・国際リサイクル施設「リサイクルサポート山ノ内」施設等各種施設の見学会主催
- ・保土ヶ谷区民まつりでのフードライブの協力・廃食油回収活動に関する広報活動
- ・区民のつどいででのフードライブと廃食油回収の取組
- ・区民のつどいででの各分科会活動報告と区民へ提言

【横浜環境活動賞を受賞して】

区民会議環境分科会は、「継続は力なり」をモットーとして、子ども達により良い未来を約束するためにも、今までに確立してきた知識を掲げて、今後とも地道で真摯に、区民の皆様方の安全で安心な生活環境を実現させるために活動を続けてまいります。

特に、平成30年度から開始したフードライブや廃食油回収には、食品ロスの低減・ゴミの減少・地球温暖化対策・自然環境改善等の一助となるように、本格的に取り組んでいきます。

今回の受賞は、環境分科会員だけでなく区民会議委員全員の喜びであり、これまでの活動が認められ、今後の活動を期待されているものと考えて、なお一層の努力を続けてまいります。



区民のつどいででの発表会風景



ホテル観察を前に講義を受ける



区民まつりでパネル展示による区民への発信



廃食油回収広報ビラと環境分科会パネル

◆ホームページアドレス <https://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/kusei/kocho/kaigi/>

◆問合せ先 TEL:045-334-6223 FAX:045-333-7945 Email:ho-kuminkaigi@city.yokohama.jp

横浜自然観察の森 友の会

【団体概要】

- ◇ 活動の目的
自然と触れ合い、自然に学び、自然を守り育てること、また自然を愛する人々を育てることを目的としています。横浜自然観察の森の設置趣旨に沿って、自然案内・調査・管理などのボランティア活動や研修・交流などを協力して行う組織で、小学生から参加できます。
- ◇ 活動地域 …… 主に横浜自然観察の森(栄区)を含む円海山周辺緑地(約700ha)
- ◇ 会員数 …… 139名(平成31年2月現在)
- ◇ 活動開始年 …… 昭和63年

【横浜環境活動賞を受賞して】

設立30周年の節目の年に応募して今回このように受賞できたことをうれしく思います。活動の種類や頻度も多く、フィールドや友の会の魅力を全てお伝えすることが難しいのですが、限られた情報の中からも高い評価をいただいたことに感謝します。ぜひとも来園・参加いただき、体験・実感していただければと思います。

【主な活動内容】

1986年の開園以来運営を担う公益財団法人日本野鳥の会と共に保全活動を進めてきました。基本計画段階・開園当初から生態系の保全・利用の視点で調査・管理が行われ、2005年には野鳥の会レンジャーと友の会が協力して保全管理計画を策定、2013年に横浜市が計画書をまとめています。「生きもののにぎわいのある森」(生物多様性の保全された森)をめざす全体目標を設定しゾーニングや順応的管理、モニタリングなどを実施しています。市内外の保全管理計画のモデルにもなっています。

実績として、近年、アライグマ対策なども効果をあげています。また、行事(年間150回程度)やプロジェクト活動(野生生物の調査・保護、生息環境の保全、普及啓発など現在10プロジェクト・年間500回程度)、情報発信、ネットワーク参画、観察センター事業・企業CSR協力などを実施。行政(横浜市環境創造局)、広域の自然保護NGO(公益財団法人日本野鳥の会)、市民ボランティア(友の会)の3者協働による施設運営を推進しています。



プロジェクト活動「野草の調査と保護」の植物相調査



プロジェクト活動「森の絵本づくりの会」の作品展示



行事「みんなでバードウォッチング」



行事「森の作業体験」(間伐・炭焼き)

◆HPアドレス <http://ynstomo.yamagomori.com/index.htm> ◆ブログ http://blog.livedoor.jp/yns_tomo/
◆問合せ先 TEL:045-894-7474 FAX:045-894-8892 Email:kansatsunomori@gmail.com

リバーサイドガーデン・フラワーズ

【団体概要】

- ◇ 活動の目的
 連合町会の協力を得て発足したボランティア団体です。鶴見川土手の環境美化や、季節感あふれる地域の憩いの場づくりを目的に、地域や学校等と協力しながら活動しています。
- ◇ 活動地域 …… 横浜市鶴見区
 (鶴見川橋袂・市場中学校脇)
- ◇ 会員数 …… 35名(平成30年11月現在)
- ◇ 活動開始年…… 平成25年

【横浜環境活動賞を受賞して】

作業中「きれいですね！」の言葉をいただくことを励みに活動してきましたが、このたびの受賞により、目立たない地道な活動が評価され、ボランティアメンバーの励みになっています。

不法投棄場所から憩いの場所に、危険な通路から毎日の散歩道に、季節感あふれる老若男女の集いの場となることを目指していきます。

【主な活動内容】

- ◇ 鶴見川土手整備事業(花壇づくり)
 鶴見川左岸、旧東海道鶴見橋袂市場地区側の土手で花壇づくりをしています。
 当初は土手の環境浄化と防犯の観点から、鶴見川の土手への桜の植樹・花壇づくりに取り組み始め、平成25年「リバーサイドガーデン・復活作戦」と銘打って、ボランティア団体【フラワーズ】を町会の協力を得て結成しました。種まき後の水やりローテーションにより効率的な作業が功を奏して生育が順調になりました。

花壇づくりをはじめ、すべてが手づくりで、毎日誰かが必ず足を運んで活動しています。年を経るごとに少しずつ、仲間が増えていることが何よりの成果だと思っています。

春は菜の花・秋はコスモスの名所となっており、鶴見区のカレンダー、タウンニュース等に掲載されました。散歩道として多くの方が来訪し、親しまれています。



after

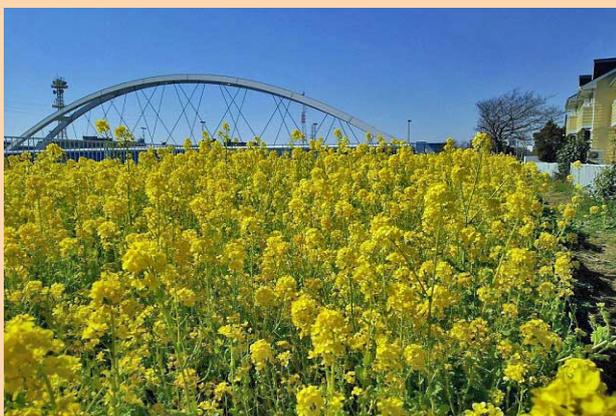
before



不法投棄に悩まされ、危険な場所から地域の力で花壇に、安全で安らぎの道



秋はコスモス畑



春は菜の花畑



平成に植えた桜がカレンダーを飾ります！

コスモス・菜の花鑑賞会が盛大に行われます！



株式会社太陽住建

【企業概要】

- ◇ 事業内容
 - ・リフォーム事業
空き家活用、住宅リフォーム、屋上防水工事
 - ・エネルギー事業
太陽光発電設備設置工事
- ◇ 所在地
横浜市南区井土ヶ谷下町6-1
- ◇ 従業員数 …… 8名(平成30年12月時点)
- ◇ 環境への取組開始年 …… 平成28年

【環境に関する主な取組内容】

都市部で活用されていない「屋上」を利用した太陽光発電設備の設置を通じて、自然エネルギーの普及とCO₂削減に貢献しています。電気の大量消費場所での地産地消(地域で生産された電気をその地域で消費すること)であるため、遠い場所で発電をするよりも効率がよいことが強みです。また、福祉避難所に指定されている施設に設置を行うことにより、災害時の非常用電源として地域や入居者への安心につながっています。

また、障がい者等の就労機会としてディーセントワークを推進しており、複数の地域課題の解決に寄与しています。障がいのある方々やシニアの方々の社会での活躍は重要であり、シニアの豊富な知識や経験、また障がいのある方の「障がい」を個人の特性として活かし、障がい者法定雇用率のみを問題とせず、地球環境問題の解決や地域のつながりをつくるなど働きがいのある仕事を創出しています。

【横浜環境活動賞を受賞して】

素晴らしい賞を受賞させていただき、心より感謝申し上げます。太陽光発電設置を通して、環境への取組、地域のつながりの創出、障がいのある方々と共にディーセントワークで創る再生可能エネルギーの普及に努めて参ります。

また、障がい者の全国平均賃金は非常に低く、自立できない方々が多いのが現状です。「障がい」と一括りにするのではなく1人1人の特性を理解し、それぞれに合った仕事を提供できる環境整備が必要と考えます。自立可能な賃金を得られる仕組みを構築し、今後、多様な種類の仕事で様々な方を受け入れる体制を整えて参ります。



太陽光架台組立レクチャー風景



障がい者就労支援現場



太陽光発電設備の完成イメージ



必要な寸法で切った角材を活用し、作業を簡略化

◆ホームページアドレス <https://www.taiyojyuku.jp/>

◆問合せ先

TEL:045-325-7133

FAX:045-325-7135

Email:info@taiyojyuku.jp

アマンダリーナ合同会社

【企業概要】

- ◇ 事業内容
あおみかンドレッシングほか農産加工品製造・販売
青みかん関連商品開発・プロモーション
- ◇ 所在地
横浜市金沢区釜利谷東
- ◇ 従業員数 …… 0名
- ◇ 環境への取組開始年 …… 平成27年

【横浜環境活動賞を受賞して】

企業としての実績の浅い弊社ですが、横浜環境活動賞企業の部実践賞をいただき、大変光栄に思います。”もったいない！から、おいしい！へ”の思いから、2015年に一軒の農家さんから始まった青みかんの摘果は、現在では柴シーサイドファーム全体に広がり、摘果イベントの参加者も年々増えています。青みかんは自然のものなので、その年の天候や気候変動、また産地によって毎年異なりますが、そのことがより、地球環境や生物多様性への気づきとなります。

あおみかンドレッシングも、あおみかんのしずくも、この思いに賛同して下さる多くの方達の協力があって継続しています。これからも地域に根ざし、皆さまに愛される良いものを作っていきます。そして環境に配慮した活動と地域活性化に積極的に取り組む、サステナブルな企業を目指して努力していきたいと思ひます。

【環境に関する主な取組内容】

- ◇ 摘果みかんを活用した地域産品作り
みかんの成長段階が必要があって摘果し、これまで廃棄されていた青みかんを原料に使用したドレッシングやジュースなどを開発しています。また、2015年から金沢区柴シーサイドファームの青みかんを集めて横浜あおみかンドレッシングを製造しています。これまでに3,800kgの柴の青みかんを廃棄することなく活用し、廃棄物削減の取組に貢献しました。またこの活動に参加した市民は延べ90人です。
- ◇ 地球に優しいリユースびんの普及促進
2017年より横浜リユースびんプロジェクトに参画しています。繰り返し使うリユースびんに地産地消の飲料を詰めた「あおみかんのしずく」「みかんのしずく」を商品化し、市内の飲食店に提供しています。地域に根ざした循環を実現し、CO₂排出削減や地域活性化に貢献しました。
- ◇ アマモの農地活用への取り組み
金沢区の海岸に漂着し堆積したアマモやアオサを肥料として農地に活用することに着目し、2018年に勉強会を開催しました。海藻の海のCO₂削減と海藻肥料の効果について理解を深めました。



柴シーサイドファームの青みかん、アマモを肥料にして撒いている



2016年青みかんの集荷と搾汁施設へ運搬



2018年の横浜青みかん摘果体験イベント



横浜リユースびん「みかんのしずく」がデビューした環境絵日記展

- ◆ ホームページアドレス <http://hamandarina.com/>
- ◆ 問合せ先 TEL:080-5696-7230 Email:mail@hamandarina.com

東芝環境ソリューション株式会社

【企業概要】

- ◇ 事業内容
廃棄物の処理(リユース、リサイクル含む)
有害物質のソリューション事業(解析・評価・処理・報告等)
- ◇ 所在地
横浜市鶴見区寛政町20-1
- ◇ 従業員数 …… 424名(平成31年3月末時点)
- ◇ 環境への取組開始年 …… 平成9年

【横浜環境活動賞を受賞して】

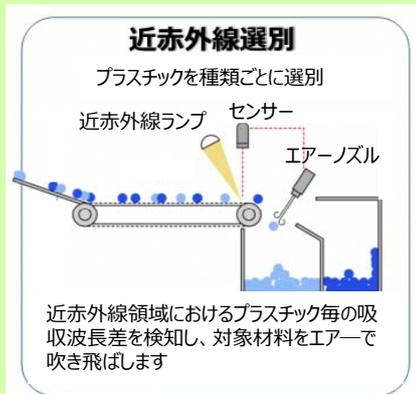
このたび、第26回横浜環境活動賞企業の部にて実践賞をいただきましたこと、まことに光栄に存じます。
当社は、廃棄物・廃家電のリサイクルを通して資源の有効活用を進めています。またPCB、アスベストをはじめとする有害物質の調査・除去の事業にも力を入れており、日常生活の安心・安全に向けて取り組んでいます。
今後も総合環境ソリューション企業として、低炭素社会・循環型社会の実現に貢献してまいります。

【環境に関する主な取組内容】

- ◇ 廃家電リサイクル
年間数十万台の廃家電(冷蔵庫、エアコン、洗濯機、テレビ)を再資源化し、再資源化率は約90%になります。そして2018年度には、これまでのリサイクル処理総数が一千万台を超えました。また最新のプラスチック選別施設を4月に導入したので、再資源化率のさらなる向上が見込まれます。
- ◇ ポリ塩化ビフェニール(PCB)の処理
電機メーカーのグループ会社として、豊富な知見とノウハウを保有し、調査・分析から最適な処理まで顧客をサポートします。さらに搬出が困難な中・大型変圧器(低濃度PCB含有)は、移動型処理装置を現地に持ち込み、PCB分解(化学的分解)と変圧器内洗浄を同時に行い、無害化します。無害化後、変圧器はリサイクルできます。
- ◇ 社会貢献活動
 - ・2011年より毎月事業場周辺地域の清掃を実施
 - ・工場見学の受け入れ(年間100人以上)



プラスチック選別施設



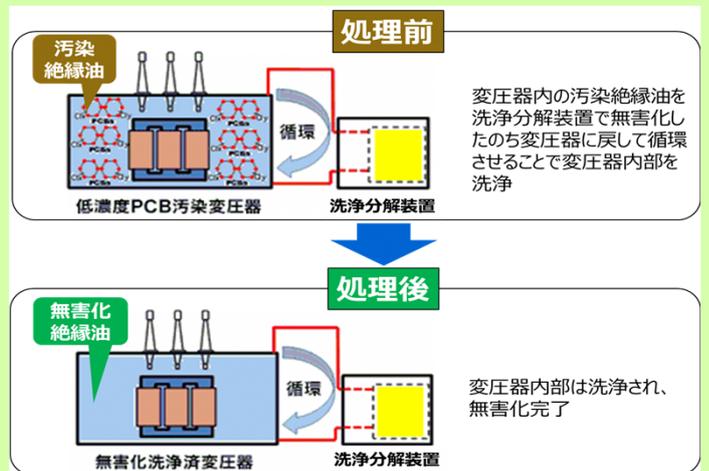
プラスチック選別方法の一例



社会貢献活動



PCB処理装置



PCB処理方法

◆ホームページアドレス <https://www.toshiba-tesc.co.jp/>
◆問合せ先 TEL:045-777-1069 FAX:045-506-1102

横浜緑地株式会社

【企業概要】

- ◇ 事業内容
造園工事・土木工事等の企画、提案・施工・管理
- ◇ 所在地
横浜市磯子区杉田4丁目5番10号
- ◇ 従業員数 …… 161名(平成30年12月時点)
- ◇ 環境への取組開始年 …… 平成17年

【横浜環境活動賞を受賞して】

私たち横浜緑地株式会社は、横浜という地域に根ざした造園会社として、花と緑そして「人をつなぐ」をテーマにした環境活動を多数行ってきました。

みつばちの生態を通じた環境学習プログラム「はち育」は、地域の環境を身近に感じることができるプログラムです。また、花と緑のリサイクル・リユースマーケット「フラワーマルシェ」は、リサイクル・リユースを通じて地域をつなぐ取組です。

このたび、「横浜環境活動賞企業の部実践賞」を受賞したことは、様々な環境活動を継続してきた結果を評価いただき、大変嬉しく思います。

今後も社員ひとりひとりが、使命感を持って環境活動を行い、より多くの人々が環境を身近に感じ、大切にしていっていきかけとなるような取組を継続していきます。

【環境に関する主な取組内容】

- ◇ 環境に配慮した製品の導入
ロボット芝刈り機オートモアや充電式ブロワー・草刈り機といった、低騒音で有害な排気ガスを出さない機材を、工事現場や公園で導入しています。
- ◇ 環境に配慮している取組
選定枝や刈草などを原材料としたリサイクル堆肥「はまっ子ユーキ」を販売しています。
- ◇ 環境教育プログラム「はち育」の実施
新杉田公園内でみつばちを飼育し、みつばちの特性を生かした出張講座を実施するとともに、蜂蜜による商品開発を行っています。
- ◇ 花と緑を通じた社会貢献活動の実施
福祉施設から購入した花苗や花の種を、ゴミ持ち帰り運動等とあわせて配布しています。また、幼稚園・保育園・小学校との花壇づくり、近隣教育機関生徒などによる花苗の植付けや種まきを行っています。
- ◇ 廃棄物削減の取組
植え替えのときに出る古い土の再利用、ペットボトルキャップの回収活動、植物やガーデニンググッズのリサイクル・リユースイベントを行っています。



ロボット芝刈り機オートモアの導入



市民協働の花壇づくり



環境学習プログラム「はち育」の実施



花と緑のリサイクル・リユースマーケットの実施

◆ ホームページアドレス <http://www.yokohamaryokuchi.co.jp/>

◆ 問合せ先 TEL:045-771-2242 FAX:045-771-2150 Emai:info@yokohamaryokuchi.com

横浜市立幸ヶ谷小学校

【団体概要】

◇ 活動の目的

持続可能な社会の担い手を育むため、“幸ヶ谷の河川・海”に関わる地域の人・生き物・環境とのつながりをテーマにした活動を行っています。

◇ 活動場所 ……横浜市西区(高島水際線公園)

◇ 児童数 ……753名(令和元年5月現在)

◇ 活動開始年……平成26年

【横浜環境活動賞を受賞して】

この活動は、地域の団体や施設の協力のもと、毎年少しずつ活動を広げていきました。都市部にある“幸ヶ谷の海”には、意外にも多くの動植物が生息していることを知ったことから関わりを深めていき、愛着をもつようになりました。また、“幸ヶ谷の海”に関わる方々とも交流し、環境保全に対する思いを知ることができました。「自分たちにもできることは…」、「幸ヶ谷の海”のためにできることを考え、これまで自分たちの活動を発信してきました。

本賞をいただいたことで、“幸ヶ谷の海”についてさらに発信する場をいただいたことに感謝するとともに、約5年間に渡り、子どもたちがこれまで取り組んできた成果が、このような形で身を結んだことは大変励みになります。

【主な活動内容】

平成30年度の活動は次のとおりです。

◇4月…「ハマの海を想う会」の活動(ゴミ拾い、水辺の生き物観察、魚釣り大会など)へ参加しました。主に5・6年生が環境委員会による海水槽の管理・水辺の生き物とのふれあいを校内に発信しました。

◇6月…4年生「総合的な学習の時間」で、高島水際線公園で海の生き物観察などの活動を行いました。

◇9月…高島水際線公園の環境を改善し、皆にもっと好きになってもらえるように、高島水際線公園に関わる専門家にインタビューを行いました。

◇10月…東京湾大感謝祭でブースにて発表し、ワンダーアクションカフェへ出演して、取組を発信しました。

◇11月…クラスごとに“幸ヶ谷の海”のためにできることを考え実践を行いました。1組は、高島水際線公園の環境改善のため、葦を刈り取り、よじり作りや工作に活用しました。2組は、横浜港湾空港技術調査事務所で“幸ヶ谷の海”の歴史や生き物について学びました。3組は、公園の環境改善のため、ヘドロ活用法を実践しました。

◇12月…ステップアップフェスティバル(学習発表会)で“幸ヶ谷の海”について全校児童、保護者、地域に発信を行いました。



海水槽での飼育



高島水際線公園での活動



東京湾大感謝祭への参加



“幸ヶ谷の海”の相関図

◆ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kohgaya/>

◆問合せ先 TEL:045-441-3170 FAX:045-441-9896 Email:y3kogaya@edu.city.yokohama.jp

横浜市立本郷小学校

【団体概要】

- ◇ 活動の目的
学校トンボ池を、1年生から6年生までの全校児童が楽しく憩える場所にしたいという思いから、「生き物いっぱい！生き物も人も超ハッピーなトンボ池をつくろう」をテーマに、学校トンボ池の再生や整備を行っています。
- ◇ 活動場所 …… 横浜市栄区
- ◇ 児童数 …… 604名(令和元年5月現在)
- ◇ 活動開始年…… 平成4年(トンボ池設置年)

【主な活動内容】

- 6年生が総合的な学習の時間の環境学習の視点から、トンボ池の整備を行い、環境への理解・関心を深めました。
- ◇ トンボ池の整備
 - ・循環器の修理
 - ・ベンチや机を創作
 - ・花壇づくり
 - ・巣箱やプランコを創作
 - ・とび石を置いて、歩く場の整備
 - ・ぞう山からトンボ池への水路づくり
 - ・トンボ池の水や土の入れ替え
- ◇ 生き物調査
- ◇ 生き物紹介看板づくり

【横浜環境活動賞を受賞して】

このたびは、素敵な賞を賜り、ありがとうございます。本校のトンボ池は、開校100周年の記念事業の一環として、施工されました。「だんだん都会になってきた横浜に、少しでも自然が増え、トンボが見られるように」との願いを込め、多くの方の協力のもとに作られたトンボ池は、学校の子も達はもちろん、近くを通る方や地域の方々の憩いの場となってきました。施工から年月がたち、だんだんと手入れが疎かになってきたトンボ池を、この3年間かけ、地域の石井造園様、ビオトープアドバイザーの方の力を借り、横浜みどりアップ計画のバックアップのもと、大きくリニューアルしました。壊れていた循環器の修理やベンチ・テーブルづくり、池の水抜き、アメリカザリガニの捕獲など、生き物にとっても人にとっても過ごしやすい場となりました。これからは、どのように持続していけばいいのかESD(持続可能な開発のための教育)の視点からも考え、トンボ池の活動を推進していきたいと思っています。



「活動で大切にしてほしいこと」を、石井造園さんから学ぶ



ビオトープアドバイザーの島村さんに、ろ過装置づくりについて相談



Before



After

トンボ池の水をきれいに



Before



After

ぞう山から池まで、水が流れるように水路づくり

◆ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongo/>

◆問合せ先 TEL:045-891-6813 FAX:045-893-4598 Email:ky-e-hongo@city.yokohama.jp

横浜市立南本宿小学校

【団体概要】

- ◇ 活動の目的
学校内外の行事等に、環境を重要な視点として各学年が主体的に取り組むことで、子どもたちがSDGsの視点をつかみ、自ら環境へ働きかけられるようになることを目指しています。
- ◇ 活動場所
・学校内(横浜市旭区)
・学校外(南本宿公園、こども自然公園、帷子川、愛川、三浦、日光ほか)
- ◇ 児童数 …… 404名(令和元年5月現在)
- ◇ 活動開始年 …… 平成27年

【横浜環境活動賞を受賞して】

- ◇ これまで、当たり前のように行ってきた活動に、SDGsの視点を取り入れたことで、新たな価値に気づき、より主体的な取組につないでいくことができました。
- ◇ 結果として、子どもたちの自然への愛着が深まり、進んで自らの周囲の環境へ働きかける姿がより多く見られるようになっていきます。

【主な活動内容】

- ◇ 「視点の獲得」期
 - 1 教育水田活動
・本校で30年以上続く本校の教育活動では、多くの活動を昔ながらの方法で全学年が分担して行っています。その中で子どもたちは、土の豊かさを守るには、海にまで広がる流域全体の環境を考えていく必要があることに気づきました。
 - 2 ビオトープアドバイザー派遣事業
・平成28年度の4年生を中心に始まった活動です。校庭の隅の湧水を利用し、ビオトープを作る計画を立てて取り組みました。
・生い茂る草を取り除いて水をためやすくする作業や、生息する生き物の調査などを子どもたち自身が行いました。
- ◇ 「働きかけの実践」期
 - 1 近隣の公園でのゴミ拾い
・総合的な学習での、地域のすばらしさを発信していく取組において、地域の公園の清掃を行い、放課後のゴミ拾いを朝会で呼びかけるなど、自主的な活動が見られました。
 - 2 教育水田活動を行う雑木林の手入れ
・こども自然公園の水田周辺の環境を整えるために、管理団体とも連携をとりながら、間伐などを行いました。



教育水田活動(代かき・田植え・稲刈り)



ビオトープづくりと見つけたサワガニ



南本宿公園のゴミ拾い



こども自然公園の雑木林の手入れ

横浜環境活動賞 受賞者一覧

※第13回までの名称は「横浜環境保全活動賞」

第1回・5年度	市民	横浜にとんぼを育てる会 帷子小ウォッチングクラブ モルフォ生物同好会 横浜・ゴミを考える連絡会 横浜自然観察の森友の会 大岡川の再生をすすめる会
	企業	日本電気株式会社横浜事業場 東洋製罐株式会社横浜工場 株式会社東芝生産技術研究所 生活協同組合コープかながわ
第2回・6年度	市民	海をつくる会 鴨池公園愛護会 けやきが丘森林愛護会 横浜市牛乳パックの再利用をすすめる連絡会 寺家ふるさと村体験農業振興組合 フリーマーケット「緑区民ふれあい市場」緑実施世話人会
	企業	相鉄ローゼン株式会社 東京電力株式会社神奈川支店鶴見支社 日本鋼管株式会社鶴見製作所
第3回・7年度	市民	三ツ沢せせらぎ緑道のほたるを育てる会 自然に学ぶ会 ファイバーリサイクルネットワーク 中田ふれあいの樹林愛護会 峰岡町二丁目自治会
	企業	大成建設株式会社横浜支店 ムラタ計測器サービス株式会社 株式会社イトーヨーカ堂(上永谷店他8店) 生活クラブ生活協同組合・神奈川
第4回・8年度	市民	戸塚ホテル研究会 恩田の谷戸ファンクラブ ラブリバートリップ大岡川 並木谷堆肥利用組合 ふるさと侍従川に親しむ会
	企業	株式会社エフピコ横浜営業所 麒麟ビール株式会社横浜工場 日本石油精製株式会社根岸製油所 みなとみらい21リサイクル推進協議会
第5回・9年度	市民	エコ・ライフいずみ リフォーム横浜会 泉の森ふれあい樹林愛護会 白幡緑の会 横浜市氷取沢小学校PTA牛乳パック・リサイクルの会 港北区牛乳パック回収グループ
	企業	株式会社日立製作所横浜地区 株式会社オオスミ ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 三菱地所株式会社横浜事業部(横浜ランドマークタワー)
第6回・10年度	市民	鶴見川を再発見する会 HAB21イルカ研究会 松の川遊歩道(緑道)の会 白根竹の森運営委員会 港北くらしの研究会 相沢川を考える会
	企業	株式会社テルム本社 株式会社熊谷組横浜支店 株式会社日立製作所情報通信事業部 横浜市廃冷蔵庫フロン回収・処理推進協議会 松下通信工業株式会社(佐江戸工場・綱島工場)

第7回・11年度	市民	あおばく・川を楽しむ会 アゲイン瀬谷 和泉川源流を楽しむ会 港南台自然観察クラブ・クロー ソフトエネルギープロジェクト
	企業	石川島播磨重工業株式会社横浜事業所 株式会社東芝横浜事業所 株式会社フジタ横浜支店 武蔵工業大学環境情報学部
第8回・12年度	市民	大岡川 Fun Club 市沢・仏向の谷戸に親しむ会 みどりの学校 横浜自然観察の森友の会 雑木林ファンクラブ 早淵川をかなでる会 上山ふれあいの樹林愛護会
	企業	神奈川機器工業株式会社 本社・工場 東京ガス株式会社 環境エネルギー館 東京ガス株式会社 根岸工場 東京電力株式会社 西火力事業所横浜火力発電所 日立湘南電子株式会社 本社工場 三菱重工業株式会社 横浜製作所
第9回・13年度	市民	荒井沢市民の森愛護会 かなざわ森沢山の会 宮沢の森愛護会 特定非営利活動法人 よこはま水辺環境研究会
	企業	株式会社CRC総合研究所データセンター事業部 川本工業株式会社 株式会社 サカクラ 株式会社 リコー中央研究所 株式会社 ニコン横浜製作所
第10回・14年度	市民	野庭馬洗川自然愛護会 みどり・川と風の会
	企業	日本発条株式会社 横浜事業所 東京ガス株式会社 扇島工場 株式会社 ダイイチ 済生会横浜市南部病院
第11回・15年度	市民	EM花の会 神奈川森林エネルギー工房 北八朔公園愛護会 港北ニュータウン緑の会 横浜植物会
	企業	株式会社 竹中工務店横浜支店 工藤建設株式会社 株式会社 ユニキャット 株式会社 アベックスディーピーエフシステム 横浜市資源リサイクル事業協同組合 綱島商店街連合会
第12回・16年度	市民	和泉の森を育む会 梅田川水辺の楽校協議会 桜ヶ丘・森の仲間たち 野島自然観察探見隊
	企業	東京電力株式会社 西火力事業所 南横浜火力発電所 三菱電機ビルテクノサービス株式会社 横浜支社 日本ビクター株式会社 本社・横浜工場 タカナン乳業株式会社 横浜工場 日産自動車株式会社 横浜工場

第13回・17年度	市民	和泉川東山の水辺愛護会 瀬谷市民の森愛護会 新治市民の森愛護会 神奈川県環境学習リーダー・エネルギー会 横浜メダカの会
	企業	東京電力(株)神奈川支店 (株)京急百貨店 フェリス学院大学 千代田化工建設(株)
第14回・18年度	市民	いかだで遊ぼう谷本川実行委員会 和泉川中央水辺愛護会 カマリヤン倶楽部 上矢部まちづくりの会 亀谷戸せせらぎ水辺愛護会 鴨居原市民の森愛護会 ナウシカの会 平潟湾クリーンアップキャンペーン実行委員会 富士見水辺愛護会 保土ヶ谷フリーマーケット実行委員会 本郷ふじやま公園運営委員会 特定非営利活動法人 ヨコハマ倉造空間 特定非営利活動法人 楽竹会
	企業	東京ガス株式会社 神奈川支店 若築建設株式会社 横浜支店
	児童・生徒・学生	上矢部まちづくり子ども実行委員会 ガールスカウト神奈川県第8団 関東学院大学・環境サークルHEP(ヘップ) 横浜市立大道小学校・ふるさとの水辺クラブ 横浜市立西柴小学校・西柴アマモ隊 武相中学高等学校・生徒会 横浜市立山元小学校・農園委員会
	市民	磯子区環境を考える会 長津田小学校野草園ボランティア 堀割川魅力づくり実行委員会 もえぎ野ふれあいの樹林愛護会 横浜野菜推進委員会
第15回・19年度	企業	国立大学法人横浜国立大学 パナソニック・モバイルコミュニケーションズ(株)佐江戸事業所
	児童・生徒・学生	下永谷小学校卒業生クラブ 鶴見大学生物部 横浜国立大学附属横浜中学校ブルーアースサミット
第16回・20年度	市民	金沢八景—東京湾アマモ場再生会議 上郷森の会 栄さとやまのりの会 大曽根の自然を楽しむ会 同愛会リプラス 獅子ヶ谷緑地保全会 関ヶ谷市民の森愛護会
	企業	前田建設工業株式会社 横浜支店 有限会社 マルニ商店
	児童・生徒・学生	横浜市立本郷中学校科学部 戸塚まつり準備会 金沢八景クラブ

第17回・21年度	市民	新井町公園愛護会 飯田雀のお宿 まゆの会 NPO法人 Waveよこはま こどものためのオープンハウス 日本の竹ファンクラブ 南瀬谷中学校PTA 洋光台まちづくり協議会 青少年夢環境部会
	企業	株式会社岡村製作所 企画本部情報システム部
第18回・22年度	児童・生徒・学生	横浜市立浦島丘中学校 生徒会 神奈川県立荏田高等学校(1学年) 神奈川県立新羽高等学校 生徒会 環境整備委員会 横浜祭運営委員会(Y. F. A)
	市民	「大賞」 市沢・仏向の谷戸に親しむ会 「実践賞」 北八朔公園愛護会 いたち川と親しむ会 瀬上の森パートナーシップ(SMP) 鴨居駅周辺まちづくり研究会 鶴見川下流ネットワーク・鶴見 都田江川水辺愛護会 若葉台連合自治会 瀬谷環境ネット 奈良川源流域を守る会 福田誠一郎
第19回・23年度	企業	「大賞」 株式会社大川印刷 「実践賞」 横浜消防器株式会社 株式会社 横浜フリースポーツクラブ 岩井の胡麻油株式会社 スーパーホテル横浜・関内 旭硝子株式会社 中央研究所 株式会社 野毛印刷社 東京電力株式会社 横浜支社
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立汐見台中学校・環境美化委員会と全校生徒 「実践賞」 横浜市立朝比奈小学校・わくわくホテル池守り隊
第19回・23年度	市民	「大賞」 特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワークキング 「実践賞」 海をつくる会 鶴見川舟運復活プロジェクト 松の川遊歩道(緑道)の会 めっちゃどろクラブ
	企業	「大賞」 キリンビール株式会社 横浜工場 「実践賞」 生活協同組合連合会 ユーコープ事業連合 トレッサ横浜
	児童・生徒・学生	「実践賞」 横浜市立十日市場中学校、及び、地域交流事業実行委員会 横浜市立南中学校 アジサイクラブ 横浜市立南希望が丘中学校 ビオトープ特別委員会
		「生物多様性特別賞」 特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワークキング 横浜市立南希望が丘中学校 ビオトープ特別委員会

第20回・24年度	市民	「大賞」 トンボはドコまで飛ぶかフォーラム 「実践賞」 あおば学校支援ネットワーク あおば発エコ大作戦実行委員会 大塚・歳勝土遺跡公園愛護会 トンボみちファンクラブ ファイバーリサイクルネットワーク 緑区霧が丘六丁目自治会 弥生台のせせらぎとホテルを守る会 横浜市都田第一土地改良区「不法投棄やめさせ隊」 特定非営利活動法人 楽竹会
	企業	「大賞」 株式会社横浜八景島 「実践賞」 ia corporation株式会社 金沢事業所 アズビル株式会社ビルシステムカンパニー横浜支店 株式会社オカムラ物流 横浜物流センター JFEエンジニアリング株式会社 鶴見製作所 JFE環境株式会社 東京ガス株式会社神奈川支社横浜支店 ナイス株式会社 東日本電信電話株式会社 神奈川支店
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立戸部小学校 とべエコクリーン委員会 「実践賞」 横浜市立芹が谷中学校 環境活動部 横浜市立新羽中学校 自然科学部 横浜市立三保小学校
		「生物多様性特別賞」 トンボはドコまで飛ぶかフォーラム
第21回・25年度	市民	「大賞」 新横浜町内会 「実践賞」 泉区農業応援隊 NPO法人 海の森・山の森事務局 青少年みどり遊楽舎 綱島バリケン島プロジェクト 特定非営利活動法人こどもリクラブ 水辺愛護会帷子川はふるさとの川の会 横浜緑の推進団体港北区連絡会 (「皇帝ダリアを咲かせようin港北プラス1」)
	企業	「大賞」 プリンズ電機株式会社 「実践賞」 株式会社ノーリツ 神奈川支店 株式会社ファンケルスマイル(特例子会社) 生活協同組合ユーコープ 大成建設株式会社技術センター 三井不動産株式会社 横浜支店 三井不動産レジデンシャル株式会社 横浜支店
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立山下みどり台小学校 「実践賞」 県立神奈川総合高等学校エコ局 横浜市立大学環境ボランティアStepUp ↑ 横浜市立矢向小学校ピオトップ委員会
		「生物多様性特別賞」 水辺愛護会帷子川はふるさとの川の会

第22回・26年度	市民	「大賞」 慶應義塾大学・日吉丸の会 「実践賞」 一本橋メダカ広場水辺愛護会 上笹下地区竹の子育成の会 グリーンサポーターズ・いそご 中川ルネッサンスプロジェクト会 大豆戸菊名打ち水大作戦実行委員会
	企業	「大賞」 リスト株式会社 「実践賞」 生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ新横浜本部
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立大学環境ボランティア StepUp ↑ 「実践賞」 フェリス女学院大学 エコキャンパス研究会
		「生物多様性特別賞」 慶應義塾大学・日吉丸の会
第23回・27年度	市民	「大賞」 新治市民の森愛護会 「実践賞」 I LOVE YOKOHAMA【横浜】 大通り公園水の広場愛護会 久下勇次郎 鶴見「みどりのルート1」をつくる会 戸塚桜セーバー 特定非営利活動法人 ホテルのふるさと瀬上沢基金 横浜サンプラザプロジェクト実行委員会
	企業	「大賞」 イケア・ジャパン株式会社 IKEA港北 「実践賞」 石井造園株式会社 株式会社大倉物産 京セラコネクタプロダクツ株式会社 高梨乳業株式会社 日本電技株式会社 横浜支店 株式会社ブリヂストン 横浜工場 株式会社横浜ビール
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立舞岡中学校 科学部
		「生物多様性特別賞」 横浜市立舞岡中学校 科学部

第 24 回 ・ 28 年 度	市民	「大賞」 特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会 「実践賞」 阿部 昭雄 一般社団法人 大岡川川の駅運営委員会 関ヶ谷市民の森愛護会 平戸永谷川水辺愛護会 横浜温暖化防止推進員会議 特定非営利活動法人 楽竹会
	企業	「大賞」 株式会社よこはまグリーンピース 「実践賞」 カーボンフリーコンサルティング株式会社 株式会社東芝ストレージ&デバイスソリューション社 大船分室
	児童・生徒・学生	「大賞」 フェリス女学院大学 エコキャンパス研究会 「実践賞」 横浜市立三ツ沢小学校
		「生物多様性特別賞」 特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会
第 25 回 ・ 29 年 度	市民	「大賞」 横浜市地球温暖化対策推進協議会 「実践賞」 熊野の森もろおかスタイル 笹下川再生プロジェクト 南中あじさい咲かせ隊 横浜海の公園ライフセービングクラブ 緑園地区活性化委員会 緑園子ども見守りプロジェクト
	企業	「大賞」 株式会社ファンケル 「実践賞」 株式会社アベックス 京浜東海支社
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立三保小学校 「実践賞」 明治学院大学横浜キャンパス ヤギ除草システムプロジェクト
		「生物多様性特別賞」 笹下川再生プロジェクト

第 26 回 ・ 30 年 度	市民	「大賞」 特定非営利活動法人 森ノオト 「実践賞」 ハマの海を想う会 保土ヶ谷区民会議(環境分科会) 横浜自然観察の森 友の会 リバーサイドガーデン・フラワーズ
	企業	「大賞」 株式会社太陽住建 「実践賞」 アマンダリーナ合同会社 東芝環境ソリューション株式会社 横浜緑地株式会社
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立幸ヶ谷小学校 「実践賞」 横浜市立本郷小学校 横浜市立南本宿小学校
		「生物多様性特別賞」 横浜自然観察の森 友の会

市民の部 計162者、企業の部 計110社、学生等の部 計40者
合計312者

第26回横浜環境活動賞 事例集

令和元年6月発行

横浜市 環境創造局 政策課
TEL:045-671-2484 FAX:045-641-3490
Email:ks-tayou@city.yokohama.jp

